

1. H4タンクエリアおよびH4東タンクエリア堰内の水位の低下の概要

【12月24日】

○H4タンクエリアおよびH4東タンクエリアの堰内水位データ確認において、当該タンクエリアの水位が徐々に低下していることを確認。

<H4タンクエリア>

●堰内水位

・12月20日：約12cm、12月24日昼頃：約5cm

漏えい量（推定）：約116m³

●堰内水サンプリング結果（12月20日採取、ストロンチウム90は簡易法による測定）

セシウム134：検出限界値未満（検出限界値：10Bq/L）

セシウム137：検出限界値未満（検出限界値：15Bq/L）

ストロンチウム90：20Bq/L

<H4東タンクエリア>

●堰内水位

・12月20日：約12cm、12月24日昼頃：約1cm

漏えい量（推定）：約109m³

●堰内水サンプリング結果（12月20日採取、ストロンチウム90は簡易法による測定）

セシウム134：検出限界値未満（検出限界値：12Bq/L）

セシウム137：検出限界値未満（検出限界値：17Bq/L）

ストロンチウム90：440Bq/L

※堰内の水をくみ上げるとともに、堰基礎部の目地へのエポキシ樹脂等による止水処理を実施することで対応

2. H4タンクエリアにおける堰内の水の堰外への漏えいについて

【12月25日】

○12/25 12:00頃、堰内水位低下の対応として堰基礎部の補修作業（コーキング剤取替）を実施していたH4タンクエリアにおいて、南側堰外へ僅かな漏えいがあることをパトロール中の当社社員が発見。

○その後、補修作業（コーキング剤取替）の完了により、漏えいは停止。

<当該エリアの線量測定結果> ※漏えい箇所において、高線量値は確認されず。

・ 雰囲気線量

70 μ m線量当量率（ガンマ線＋ベータ線）0.02mSv/h

・ 当該部線量（漏えい箇所）

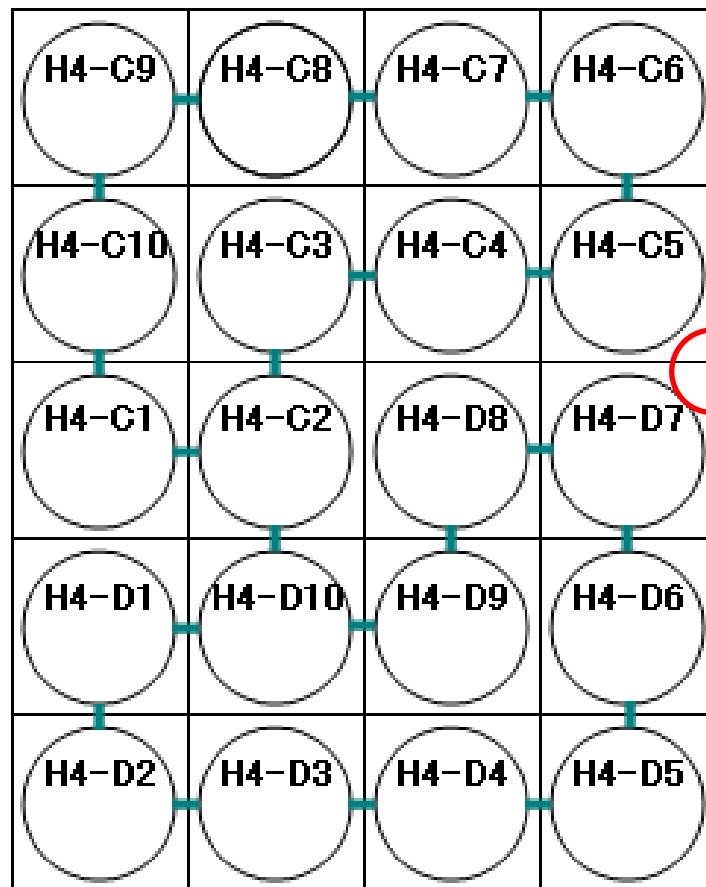
（5cm距離※） 70 μ m線量当量率（ガンマ線＋ベータ線）0.03mSv/h

・ 堰内表面線量

（5cm距離※） 70 μ m線量当量率（ガンマ線＋ベータ線）0.04mSv/h

※測定箇所から5cm離れた位置

3. H4タンクエリアにおける堰内の水の堰外への漏えい箇所



漏えい箇所*

H4タンクエリアタンク数：20基

*：漏えい箇所の位置に誤りがありましたので、訂正しております。（平成25年12月25日訂正）

(参考) タンクエリア配置図

